

自己点検・評価報告書

学校法人平松学園

大分リハビリテーション専門学校

I. 理学療法士科

II. 作業療法士科

III. 言語聴覚士科

平成 29 年度

平成 29 年度 自己点検・評価報告書

1. 自己点検・評価の流れ

1) 職業教育を目的とする教育活動や学校の運営について、大分リハビリテーション専門学校理学療法士科教職員は自らその達成状況や達成に向けた取組みについて評価する。

2) 大分リハビリテーション専門学校理学療法士科の自己点検・評価結果について、職能団体や卒業生等の学校関係者が評価を通し、自己評価の客観性や透明性を高める。

2. 自己点検・評価の基本方針

自己点検・評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」に則り実施することを基本方針とする。

3. 自己評価の項目

「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って、学校が設定した 38 項目に実施する。

4. 判定基準

適合	適切になされており、特に解決すべき課題はない
ほぼ適合	現時点で早急に解決すべき課題はないが、状況把握が必要
やや不適	状況把握を行い、解決に向けた取組みが必要
不適	早急に解決すべき課題である

5. 実施日等 平成 30 年 11 月 21 日

6. 自己点検・評価結果

1) 項目 1: 教育理念・教育目標

	学校が設定した項目	自己点検・評価
1	教育理念・教育目標、育成する人材像は定められているか。	適合
2	職業教育における学校の特色は明確か。	適合
3	学校の中長期的構想を描いているか。	適合

2) 項目 2: 学校運営

	学校が設定した項目	自己点検・評価
1	教育目標を達成するための事業計画が定められているか。	適合
2	事業計画に沿って運営されているか。	適合
3	学校組織や分掌は定められているか。	適合
4	学校運営に必要な会議や委員会は設置されているか。	適合
5	情報システム化など業務の効率化が図られているか	適合

3) 項目 3: 教育活動

	学校が設定した項目	自己点検・評価
1	カリキュラムは体系的に編成されているか。	適合
2	各科目の位置づけや時間数・単位数は適切か。	適合
3	シラバスは適切に策定されているか。	適合
4	成績評価、単位認定の基準は明確に定められているか。	適合
5	進級要件や卒業要件は明確に定められているか。	適合

6	各授業科目に対して適切な教員を確保しているか。	適合
7	学生による授業評価体制は整備されているか。	適合
8	入学前の学修成果を反映する仕組みがあるか。	適合

4)項目 4:教育成果

	学校が設定した項目	自己点検・評価
1	就職率の向上に向けた取組みがなされているか。	適合
2	留年率や退学率の低減に向けた取組みがなされているか。	適合
3	資格取得に向けた取組みがなされているか。	適合

5)項目 5:学生支援

	学校が設定した項目	自己点検・評価
1	就職や進学に向けた支援体制は整備されているか。	適合
2	学生相談の支援体制は整備されているか。	適合
3	学生の健康管理体制は整備されているか。	適合
4	保護者と適切に連携しているか。	適合
5	卒業生への支援体制は整備されているか。	適合

6)項目 6:教育環境

	学校が設定した項目	自己点検・評価
1	施設・設備は教育上の必要性に合わせ整備されているか。	適合
2	学外実習等は教育上の必要性に合わせ確保されているか。	適合
3	防災に対する体制は整備されているか。	適合

7)項目 7:学生の受入れと募集

	学校が設定した項目	自己点検・評価
1	学生募集は適正に行われているか。	適合
2	入学選考は適正に行われているか。	適合
3	学納金は妥当なものとなっているか。	適合

8)項目 8:財務

	学校が設定した項目	自己点検・評価
1	中長期的に財務基盤は安定しているか。	適合
2	財務について会計監査が適正に行われているか。	適合
3	財務情報公開の体制があるか。	適合
	・財務状況についても平松学園ホームページで公開している。	

9)項目 9:法令等の遵守

	学校が設定した項目	自己点検・評価
1	個人情報保護のための体制が整備されているか。	適合
2	自己評価の実施とそれを基にした改善に努めているか。	適合
3	自己評価結果を公開しているか。	適合

10)項目 10:社会貢献

	学校が設定した項目	自己点検・評価
1	学校が有する教育資源を活用した社会貢献を行っているか。	適合
2	学生のボランティア活動等を奨励・支援しているか。	適合

総評

1) 留年・退学・休学について

平成 29 年 5 月 1 日、在籍者数 98 名

留年者数: 0 名

退学者数: 1 名(1%)

休学者数: 0 名

修業年限卒業者: 33 名入学、32 名卒業(97%)

2) 国家試験合格率

93.8%(受験者 32 名、うち 30 名合格) 全国平均 81.4%

3) 保護者との協力体制作り

保護者面談の実施 5 件(電話連絡のみ 6 件)

4) 新規購入備品

水銀レス血圧計、アルミ製松葉杖、下肢装具更新、パルスオキシメーター(コニカミノルタ)

重心動揺計(酒井医療)

5) 1 年生アンケート

平成 29 年 10 月 4 日、入学後半年が経過した 1 年生の、学習や生活についての状況や学校に対する要望等を把握する目的でアンケートを実施した。このアンケートは学園内のすべての医療福祉系専門学校で横断的に実施した。アンケートは無記名、質問紙法。質問構成は 5 件法 10 問と自由記載 4 問、計 14 問であった。

その結果、学習については、「大変だけど楽しい」や「わかりやすい」「熱心に教えてもらえる」と肯定的な内容が殆どであった。中には「3 年制専門学校はハードできついイメージだったけど全然違った」や「勉強しない人が多いのかと思っていたが、みんな熱心で私も頑張ろうと思った」と、学種の違いを意識した記載も見受けられた。生活面についても「先生や先輩との距離が近い」「毎日が楽しい」等、前向きな学校生活を送れている様であった。その反面、進級や国家試験など今後に不安を感じているものもいた。

また、同様のアンケートを他学科や系列校で実施することで、理学療法士科の学生の状況も何うことができ有意義なアンケートであった。

平成 29 年度 自己点検・評価報告書

1. 自己点検・評価の流れ

- 1) 職業教育を目的とする教育活動や学校の運営について、大分リハビリテーション専門学校作業療法士科教職員は自らその達成状況や達成に向けた取組みについて評価する。
- 2) 大分リハビリテーション専門学校作業療法士科の自己点検・評価結果について、職能団体や卒業生等の学校関係者が評価を通し、自己評価の客観性や透明性を高める。

2. 自己点検・評価の基本方針

自己点検・評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」に則り実施することを基本方針とする。

3. 自己評価の項目

「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って、学校が設定した 38 項目に実施する。

4. 判定基準

適合	適切になされており、特に解決すべき課題はない
ほぼ適合	現時点で早急に解決すべき課題はないが、状況把握が必要
やや不適	状況把握を行い、解決に向けた取組みが必要
不適	早急に解決すべき課題である

5. 実施日等 平成 30 年 6 月 1 日(金)

6. 自己点検・評価結果

1) 項目 1: 教育理念・教育目標

	学校が設定した項目	自己点検・評価
1	教育理念・教育目標、育成する人材像は定められているか。	適合
2	職業教育における学校の特色は明確か。	適合
3	学校の中長期的構想を描いているか。	適合
	・3 科共通の教育理念は学生便覧に掲載し、新入生に配布している。 ・職業教育は、IPE(専門職連携教育)やOSCE(客観的臨床能力試験)、日本作業療法士協会が取り組んでいる生活行為向上マネジメントなどにて取り組んでいる。	

2) 項目 2: 学校運営

	学校が設定した項目	自己点検・評価
1	教育目標を達成するための事業計画が定められているか。	適合
2	事業計画に沿って運営されているか。	適合
3	学校組織や分掌は定められているか。	適合
4	学校運営に必要な会議や委員会は設置されているか。	適合
5	情報システム化など業務の効率化が図られているか	適合
	・適切に運営されている。	

3)項目 3:教育活動

	学校が設定した項目	自己点検・評価
1	カリキュラムは体系的に編成されているか。	適合
2	各科目の位置づけや時間数・単位数は適切か。	適合
3	シラバスは適切に策定されているか。	適合
4	成績評価、単位認定の基準は明確に定められているか。	適合
5	進級要件や卒業要件は明確に定められているか。	適合
6	各授業科目に対して適切な教員を確保しているか。	適合
7	学生による授業評価体制は整備されているか。	適合
8	入学前の学修成果を反映する仕組みがあるか。	適合
<ul style="list-style-type: none"> ・適切に運営されている。 ・平成 28 年度にカリキュラム編成を行い、平成 29 年度に実施している。内容は実習時間や生活期リハの講義時間を増加している。実情に応じた対応となっている。 		

4)項目 4:教育成果

	学校が設定した項目	自己点検・評価
1	就職率の向上に向けた取組みがなされているか。	適合
2	留年率や退学率の低減に向けた取組みがなされているか。	適合
3	資格取得に向けた取組みがなされているか。	適合
<ul style="list-style-type: none"> ・留年率 3%、退学率 2%、就職率 100%となった。 ・個人面談などを通じ、就職活動を支援している。 		

5)項目 5:学生支援

	学校が設定した項目	自己点検・評価
1	就職や進学に向けた支援体制は整備されているか。	適合
2	学生相談の支援体制は整備されているか。	適合
3	学生の健康管理体制は整備されているか。	適合
4	保護者と適切に連携しているか。	適合
5	卒業生への支援体制は整備されているか。	適合
<ul style="list-style-type: none"> ・進学に向けた意向確認と大学等の照会・説明等のサポートをしている。 ・ワクチンプログラム等により健康管理に留意している。 		

6)項目 6:教育環境

	学校が設定した項目	自己点検・評価
1	施設・設備は教育上の必要性に合わせ整備されているか。	適合
2	学外実習等は教育上の必要性に合わせ確保されているか。	適合
3	防災に対する体制は整備されているか。	適合
<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練については、公的機関が行うプログラムに参加している。 ・施設・設備は適切に整備されている。 		

7)項目 7:学生の受入れと募集

	学校が設定した項目	自己点検・評価
1	学生募集は適正に行われているか。	適合
2	入学選考は適正に行われているか。	適合
3	学納金は妥当なものとなっているか。	適合
<ul style="list-style-type: none"> ・適正な募集や入学選考が行われている。 ・学納金は妥当である。 		

8)項目 8:財務

	学校が設定した項目	自己点検・評価
1	中長期的に財務基盤は安定しているか。	適合
2	財務について会計監査が適正に行われているか。	適合
3	財務情報公開の体制があるか。	適合
<ul style="list-style-type: none"> ・適正に運営されている。 		

9)項目 9:法令等の遵守

	学校が設定した項目	自己点検・評価
1	個人情報保護のための体制が整備されているか。	適合
2	自己評価の実施とそれを基にした改善に努めているか。	適合
3	自己評価結果を公開しているか。	適合
<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価結果を学校ホームページに公開している。 ・写真や文書等の記載について、個人情報保護体制がとられている。 		

10)項目 10:社会貢献

	学校が設定した項目	自己点検・評価
1	学校が有する教育資源を活用した社会貢献を行っているか。	適合
2	学生のボランティア活動等を奨励・支援しているか。	適合
<ul style="list-style-type: none"> ・外部からのボランティアの依頼は学生に案内し、ボランティア活動を推奨している。またその外の社会貢献の紹介及び実施がされている。 		

平成 29 年度 自己点検・評価報告書

1. 自己点検・評価の流れ

- 1) 職業教育を目的とする教育活動や学校の運営について、大分リハビリテーション専門学校言語聴覚士科教職員は自らその達成状況や達成に向けた取組みについて評価する。
- 2) 大分リハビリテーション専門学校言語聴覚士科の自己点検・評価結果について、職能団体や卒業生等の学校関係者が評価を通し、自己評価の客観性や透明性を高める。

2. 自己点検・評価の基本方針

自己点検・評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」に則り実施することを基本方針とする。

3. 自己評価の項目

「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って、学校が設定した 38 項目に実施する。

4. 判定基準

適合	適切になされており、特に解決すべき課題はない
ほぼ適合	現時点で早急に解決すべき課題はないが、状況把握が必要
やや不適	状況把握を行い、解決に向けた取組みが必要
不適	早急に解決すべき課題である

5. 実施日等 平成 30 年 6 月 20 日(水)

6. 自己点検・評価結果

評価項目		点検項目		自己評価
1	教育理念・教育目標	1	教育理念・教育目標、育成する人材像は定められているか。	適合
		2	職業教育における学校の特色は明確か。	適合
		3	学校の中長期的構想を描いているか。	適合
2	学校運営	1	教育目標を達成するための事業計画が定められているか。	適合
		2	事業計画に沿って運営されているか。	適合

		3	学校組織や分掌は定められているか。	適合
		4	学校運営に必要な会議や委員会は設置されているか。	適合
		5	情報システム化など業務の効率化が図られているか	適合
3	教育活動	1	カリキュラムは体系的に編成されているか。	適合
		2	各科目の位置づけや時間数・単位数は適切か。	適合
		3	シラバスは適切に策定されているか。	適合
		4	成績評価、単位認定の基準は明確に定められているか。	適合
		5	進級要件や卒業要件は明確に定められているか。	適合
		6	各授業科目に対して適切な教員を確保しているか。	適合
		7	学生による授業評価体制は整備されているか。	適合
		8	入学前の学修成果を反映する仕組みがあるか。	適合
4	教育成果	1	就職率の向上に向けた取組みがなされているか。	適合
		2	留年率や退学率の低減に向けた取組みがなされているか。	適合
		3	資格取得に向けた取組みがなされているか。	適合
5	学生支援	1	就職や進学に向けた支援体制は整備されているか。	適合
		2	学生相談の支援体制は整備されているか。	適合
		3	学生の健康管理体制は整備されているか。	適合
		4	保護者と適切に連携しているか。	適合
		5	卒業生への支援体制は整備されているか。	適合
6	教育環境	1	施設・設備は教育上の必要性に合わせ整備されているか。	適合
		2	学外実習等は教育上の必要性に合わせ確保されているか。	適合
		3	防災に対する体制は整備されているか。	適合
7	学生の受入れと募集	1	学生募集は適正に行われているか。	適合
		2	入学選考は適正に行われているか。	適合
		3	学納金は妥当なものとなっているか。	適合
8	財務	1	中長期的に財務基盤は安定しているか。	適合
		2	財務について会見監査が適正に行われているか。	適合
		3	財務情報公開の体制があるか。	適合
9	法令等の遵守	1	個人情報保護のための体制が整備されているか。	適合
		2	自己評価の実施とそれを基にした改善に努めているか。	適合
		3	自己評価結果を公開しているか。	適合
10	社会貢献	1	学校が有する教育資源を活用した社会貢献を行っているか。	適合

		2	学生のボランティア活動等を奨励・支援しているか。	適合
--	--	---	--------------------------	----

学校関係者評価報告書

学校法人平松学園

大分リハビリテーション専門学校

I. 理学療法士科

II. 作業療法士科

III. 言語聴覚士科

平成 29 年度

平成 29 年度 学校関係者評価報告書

学校法人平松学園 大分リハビリテーション専門学校理学療法士科は、平成 29 年度の自己点検・評価結果に基づき、学校関係者評価委員会にて学校関係者評価を実施いたしましたので、以下のとおり報告いたします。

1. 実施日時 平成 30 年 11 月 21 日(水)

2. 出席者

氏名	所属
河野礼治	大分県リハビリテーション専門職団体協議会 会長、杵築中央病院
池田孝臣	医療法人福寿会 そうりんデイサービス森町、理学療法士
梅木駿太	河野脳神経外科病院、理学療法士
安達佳輝	大分リハビリテーション専門学校
武田知樹	大分リハビリテーション専門学校

3. 判定基準

適合	適切になされており、特に解決すべき課題はない
ほぼ適合	現時点で早急に解決すべき課題はないが、状況把握が必要
やや不適	状況把握を行い、解決に向けた取組みが必要
不適	早急に解決すべき課題である

4. 学校関係者評価の留意点

- 1) 自己点検・評価結果が適切かどうか。
- 2) 課題の解決や改善に向けた取組みが適切かどうか。

5. 学校関係者評価結果

1)項目 1:教育理念・教育目標

	学校が設定した項目	自己点検・評価	学校関係者評価
1	教育理念・教育目標、育成する人材は定められているか。	適合	適合
2	職業教育における学校の特色は明確か。	適合	適合
3	学校の中長期的構想を描いているか。	適合	適合

2)項目 2:学校運営

	学校が設定した項目	自己点検・評価	学校関係者評価
1	教育目標を達成するための事業計画が定められているか。	適合	適合
2	事業計画に沿って運営されているか。	適合	適合
3	学校組織や分掌は定められているか。	適合	適合
4	学校運営に必要な会議や委員会は設置されているか。	適合	適合
5	情報システム化など業務の効率化が図られているか	適合	適合

3)項目 3:教育活動

	学校が設定した項目	自己点検・ 評価	学校関係者 評価
1	カリキュラムは体系的に編成されているか。	適合	適合
2	各科目の位置づけや時間数・単位数は適切か。	適合	適合
3	シラバスは適切に策定されているか。	適合	適合
4	成績評価、単位認定の基準は明確に定められているか。	適合	適合
5	進級要件や卒業要件は明確に定められているか。	適合	適合
6	各授業科目に対して適切な教員を確保しているか。	適合	適合
7	学生による授業評価体制は整備されているか。	適合	適合
8	入学前の学修成果を反映する仕組みがあるか。	適合	適合

4)項目 4:教育成果

	学校が設定した項目	自己点検・ 評価	学校関係者 評価
1	就職率の向上に向けた取組みがなされているか。	適合	適合
2	留年率や退学率の低減に向けた取組みがなされているか。	適合	適合
3	資格取得に向けた取組みがなされているか。	適合	適合

5)項目 5:学生支援

	学校が設定した項目	自己点検・ 評価	学校関係者 評価
1	就職や進学に向けた支援体制は整備されているか。	適合	適合
2	学生相談の支援体制は整備されているか。	適合	適合
3	学生の健康管理体制は整備されているか。	適合	適合
4	保護者と適切に連携しているか。	適合	適合
5	卒業生への支援体制は整備されているか。	適合	適合

6)項目 6:教育環境

	学校が設定した項目	自己点検・ 評価	学校関係者 評価
1	施設・設備は教育上の必要性に合わせ整備されているか。	適合	適合
2	学外実習等は教育上の必要性に合わせ確保されているか。	適合	適合
3	防災に対する体制は整備されているか。	適合	適合

7)項目 7:学生の受入れと募集

	学校が設定した項目	自己点検・ 評価	学校関係者 評価
1	学生募集は適正に行われているか。	適合	適合
2	入学選考は適正に行われているか。	適合	適合
3	学納金は妥当なものとなっているか。	適合	適合

8)項目 8:財務

	学校が設定した項目	自己点検・ 評価	学校関係者 評価
1	中長期的に財務基盤は安定しているか。	適合	適合
2	財務について会計監査が適正に行われているか。	適合	適合
3	財務情報公開の体制があるか。	適合	適合

9)項目 9:法令等の遵守

	学校が設定した項目	自己点検・ 評価	学校関係者 評価
1	個人情報保護のための体制が整備されているか。	適合	適合
2	自己評価の実施とそれを基にした改善に努めているか。	適合	適合
3	自己評価結果を公開しているか。	適合	適合

10)項目 10:社会貢献

	学校が設定した項目	自己点検・ 評価	学校関係者 評価
1	学校が有する教育資源を活用した社会貢献を行っているか。	適合	適合
2	学生のボランティア活動等を奨励・支援しているか。	適合	適合

総評

自己点検に基づき、38項目の点検項目から学校関係者評価委員会で学校評価が行われた。その結果、自己点検評価は全項目について妥当であり、且つ適切であると学校関係者委員より評価された。課題の解決や改善に向けた学校の取組みについても全委員の意見一致のもと、問題なく適切に運営されていると承認された。

1. 留年・中途退学について

留年や中途退学の低さは教育機関として重要な指標であり、今後も継続してほしい。

2. 学生アンケート

学生アンケートは課題発見に向けた有意義な取り組みであり、今後も継続してほしい。

3. 社会貢献・学生ボランティアについて

専門職教育機関として、市区町村や社会福祉協議会等との連携のもと、学生が地域住民サービスに同行したり見学することは、地域と連携した職業に関連した実践的な学びが体験できる。また、学生を地域サービスのマンパワーとして活用できることは、社会資源・社会貢献としても意義深い。可能であればそのような学び、社会貢献活動、ボランティア活動の提案をいただいた。

平成 29 年度 学校関係者評価報告書

学校法人平松学園 大分リハビリテーション専門学校作業療法士科は、平成 29 年度の自己点検・評価結果に基づき、学校関係者評価委員会にて学校関係者評価を実施いたしましたので、以下のとおり報告いたします。

1. 実施日時 平成 30 年 12 月 21 日(金)

2. 出席者

氏名	所属
高森聖人	公益社団法人 大分県作業療法協会 会長
平野政治	医療法人ライフサポート 明和記念病院 在宅部 課長、作業療法士
入口晴香	株式会社ライフリー デイサービスセンター楽 作業療法士
日隈武治	大分リハビリテーション専門学校
後藤英子	大分リハビリテーション専門学校

3. 判定基準

適合	適切になされており、特に解決すべき課題はない
ほぼ適合	現時点で早急に解決すべき課題はないが、状況把握が必要
やや不適	状況把握を行い、解決に向けた取組みが必要
不適	早急に解決すべき課題である

4. 学校関係者評価の留意点

- 1) 自己点検・評価結果が適切かどうか。
- 2) 課題の解決や改善に向けた取組みが適切かどうか。

5. 学校関係者評価結果

1)項目 1:教育理念・教育目標

	学校が設定した項目	自己点検・評価	学校関係者評価
1	教育理念・教育目標、育成する人材は定められているか。	適合	適合
2	職業教育における学校の特色は明確か。	適合	適合
3	学校の中長期的構想を描いているか。	適合	適合
【学校関係者評価】 ・3 科共通の教育理念は学生便覧に掲載し、新入生に配布している。 ・職業教育は、IPE(専門職連携教育)やOSCE(客観的臨床能力試験)、日本作業療法士協会が取り組んでいる生活行為向上マネジメントに取り組んでいる。			

2)項目 2:学校運営

	学校が設定した項目	自己点検・評価	学校関係者評価
1	教育目標を達成するための事業計画が定められているか。	適合	適合
2	事業計画に沿って運営されているか。	適合	適合
3	学校組織や分掌は定められているか。	適合	適合
4	学校運営に必要な会議や委員会は設置されているか。	適合	適合

5	情報システム化など業務の効率化が図られているか	適合	適合
【学校関係者評価】 ・適切に運営されている。			

3)項目 3:教育活動

	学校が設定した項目	自己点検・ 評価	学校関係者 評価
1	カリキュラムは体系的に編成されているか。	適合	適合
2	各科目の位置づけや時間数・単位数は適切か。	適合	適合
3	シラバスは適切に策定されているか。	適合	適合
4	成績評価、単位認定の基準は明確に定められているか。	適合	適合
5	進級要件や卒業要件は明確に定められているか。	適合	適合
6	各授業科目に対して適切な教員を確保しているか。	適合	適合
7	学生による授業評価体制は整備されているか。	適合	適合
8	入学前の学修成果を反映する仕組みがあるか。	適合	適合
【学校関係者評価】 ・適切に運営されている。 ・平成 28 年度にカリキュラム編成を行い、平成 29 年度に実施している。内容は実習時間や生活期リハの講義時間を増加している。実情に応じた対応となっている。			

4)項目 4:教育成果

	学校が設定した項目	自己点検・ 評価	学校関係者 評価
1	就職率の向上に向けた取組みがなされているか。	適合	適合
2	留年率や退学率の低減に向けた取組みがなされているか。	適合	適合
3	資格取得に向けた取組みがなされているか。	適合	適合
【学校関係者評価】 ・留年率0%、退学率0%、就職率 100%となった。 ・個人面談などを通じ、就職活動を支援している。			

5)項目 5:学生支援

	学校が設定した項目	自己点検・ 評価	学校関係者 評価
1	就職や進学に向けた支援体制は整備されているか。	適合	適合
2	学生相談の支援体制は整備されているか。	適合	適合
3	学生の健康管理体制は整備されているか。	適合	適合
4	保護者と適切に連携しているか。	適合	適合
5	卒業生への支援体制は整備されているか。	適合	適合
【学校関係者評価】 ・進学に向けた意向確認と大学等の照会・説明等のサポートをしている。 ・ワクチンプログラム等により健康管理に留意している。			

6)項目 6:教育環境

	学校が設定した項目	自己点検・ 評価	学校関係者 評価
1	施設・設備は教育上の必要性に合わせ整備されているか。	適合	適合
2	学外実習等は教育上の必要性に合わせ確保されているか。	適合	適合
3	防災に対する体制は整備されているか。	適合	適合
【学校関係者評価】 ・防災訓練については、公的機関が行うプログラムに参加している。 ・施設・設備は適切に整備されている。			

7)項目 7:学生の受入れと募集

	学校が設定した項目	自己点検・ 評価	学校関係者 評価
1	学生募集は適正に行われているか。	適合	適合
2	入学選考は適正に行われているか。	適合	適合
3	学納金は妥当なものとなっているか。	適合	適合
【学校関係者評価】 ・適正な募集や入学選考が行われている。 ・学納金は妥当である。			

8)項目 8:財務

	学校が設定した項目	自己点検・ 評価	学校関係者 評価
1	中長期的に財務基盤は安定しているか。	適合	適合
2	財務について会計監査が適正に行われているか。	適合	適合
3	財務情報公開の体制があるか。	適合	適合
【学校関係者評価】 ・適正に運営されている。			

9)項目 9:法令等の遵守

	学校が設定した項目	自己点検・ 評価	学校関係者 評価
1	個人情報保護のための体制が整備されているか。	適合	適合
2	自己評価の実施とそれを基にした改善に努めているか。	適合	適合
3	自己評価結果を公開しているか。	適合	適合
【学校関係者評価】 ・自己評価結果を学校ホームページに公開している。 ・写真や文書等の記載について、個人情報保護体制がとられている。			

10)項目 10:社会貢献

	学校が設定した項目	自己点検・ 評価	学校関係者 評価
1	学校が有する教育資源を活用した社会貢献を行っているか。	適合	適合
2	学生のボランティア活動等を奨励・支援しているか。	適合	適合
【学校関係者評価】 ・学生ボランティア活動やその他の社会貢献の紹介及び実施がされている。			

平成 29 年度 学校関係者評価報告書

学校法人平松学園 大分リハビリテーション専門学校言語聴覚士科は、平成 29 年度の自己点検・評価結果に基づき、学校関係者評価委員会にて学校関係者評価を実施いたしましたので、以下のとおり報告いたします。

1. 実施日時 平成 30 年 11 月 14 日(水)

2. 出席者

氏名	所属
吉田 玲子	明和記念病院
武内 泰馬	大分健生病院
梶原 寛	大分市医師会立 アルメイダ病院
丹生 泉	大分リハビリテーション専門学校
平岡 賢	大分リハビリテーション専門学校

3. 判定基準

適合	適切になされており、特に解決すべき課題はない
ほぼ適合	現時点で早急に解決すべき課題はないが、状況把握が必要
やや不適	状況把握を行い、解決に向けた取組みが必要
不適	早急に解決すべき課題である

4. 学校関係者評価の留意点

- 1) 自己点検・評価結果が適切かどうか。
- 2) 課題の解決や改善に向けた取組みが適切かどうか。

5. 学校関係者評価結果

学校関係者評価委員会において自己点検評価の 38 項目が審議され、学校評価が行われた。その結果、自己点検評価の妥当性は評価され、且つ課題に向けた解決や改善を行っていること承認された。各点検項目の審議内容については、下表の通りである。

点検基準		点検項目		自己評価	学校関係者評価
1	教育理念・教育目標	1	教育理念・教育目標、育成する人材像は定められているか。	適合	適合
		2	職業教育における学校の特色は明確か。	適合	適合
		3	学校の中長期的構想を描いているか。	適合	適合
<p>【学校関係者評価】</p> <p>「教育理念」は学生便覧に、「教育目標」「教育計画」は「学生のしおり」に明記した。</p> <p>職業教育における学校の特色として、理学療法士科、作業療法士科、言語聴覚士科の3科で多職種連携教育（IFE：Interprofessional education）を実施し、各学年において職業教育を図った。</p> <p>学校の中期的構想として、（社）日本言語聴覚士協会の言語聴覚士養成教育ガイドモデル・コア・カリキュラム（2018年版）に沿ってカリキュラムを見直し、将来的なカリキュラム構想を検討した。</p>					
2	学校運営	1	教育目標を達成するための事業計画が定められているか。	適合	適合
		2	事業計画に沿って運営されているか。	適合	適合
		3	学校組織や分掌は定められているか。	適合	適合
		4	学校運営に必要な会議や委員会は設置されているか。	適合	適合
		5	情報システム化など業務の効率化が図られているか。	適合	適合
<p>【学校関係者評価】</p> <p>教育目標、教育事業計画、学校組織、校務分掌などの内容が報告され、学校運営に関する取り組みが承認された。</p>					
3	教育活動	1	カリキュラムは体系的に編成されているか。	適合	適合
		2	各科目の位置づけや時間数・単位数は適切か。	適合	適合
		3	シラバスは適切に策定されているか。	適合	適合
		4	成績評価、単位認定の基準は明確に定められているか。	適合	適合
		5	進級要件や卒業要件は明確に定められているか。	適合	適合

		6	各授業科目に対して適切な教員を確保しているか。	適合	適合
		7	学生による授業評価体制は整備されているか。	適合	適合
		8	入学前の学修成果を反映する仕組みがあるか。	適合	適合
<p>【学校関係者評価】</p> <p>授業内容については見直を図り改善した。具体的には、前年度に引き続き「言語聴覚障害特論Ⅲ（言語聴覚障害研究法）」において地域リハビリテーションや多職種連携の内容を再編して導入した。</p> <p>さらに「職業教育における学校の特色」として、小児発達療育、回復期病棟、がん病棟などの企業（病院）に従事する言語聴覚士及び医師の最新の講義内容を導入した。以上より、臨床における言語聴覚士の業務内容に沿った教育内容を取り入れていると評価された。</p>					
4	教育成果	1	就職率の向上に向けた取組みがなされているか。	適合	適合
		2	留年率や退学率の低減に向けた取組みがなされているか。	適合	適合
		3	資格取得に向けた取組みがなされているか。	適合	適合
<p>【学校関係者評価】</p> <p>「就職率の向上、及び留年率・退学率の軽減にむけた取組み」は、平成29年度国家試験の合格率・就職率の実績から問題はないと評価された。合格率・就職率については共に100%を達成し、日々の学修成果が反映されていると評価された。</p> <p>また、言語聴覚士の資格取得に向けた取組みに関しては、企業（病院）で行う臨床実習の実施状況の報告から、問題なく遂行されていると評価された。</p>					
5	学生支援	1	就職や進学に向けた支援体制は整備されているか。	適合	適合
		2	学生相談の支援体制は整備されているか。	適合	適合
		3	学生の健康管理体制は整備されているか。	適合	適合
		4	保護者と適切に連携しているか。	適合	適合
		5	卒業生への支援体制は整備されているか。	適合	適合
<p>【学校関係者評価】</p> <p>学生支援では、学習面のつまずきに応じて保護者と面談を実施し、学生の特性に適合した指導を保護者と連携して実施したことが報告された。また、就職先の決定についても、全教員で学生の相談・</p>					

<p>面談に応じた。</p> <p>さらに、学生アンケートを実施して学校生活上の学生の要望を聴取した。学生の意向を知り、一部、学生意見を尊重して指導に反映した。</p> <p>卒業生への支援体制として、転職時には学校に来校を促し、企業(病院等)への再就職を斡旋した。</p> <p>学生支援は「適合」していると認められた。</p>					
6	教育環境	1	施設・設備は教育上の必要性に合わせ整備されているか。	適合	適合
		2	学外実習等は教育上の必要性に合わせ確保されているか。	適合	適合
		3	防災に対する体制は整備されているか。	適合	適合
<p>【学校関係者評価】</p> <p>学内においても臨床現場と同様の言語検査等の検査バッテリーに対応できるように、新規に検査用具を新規購入した。</p> <p>また学外実習では、学生人数に応じた施設数の確保ができ、1年次に介護体験実習、2年次には臨床見学実習、3年次には臨床実習と、3学年がそれぞれの目標とする学外実習を履修することができた。</p> <p>防災については、9月1日の『防災の日』に学内にて防災訓練を実施した。</p> <p>以上より、教育環境について適合であると承認された。</p>					
7	学生の受入れと募集	1	学生募集は適正に行われているか。	適合	適合
		2	入学選考は適正に行われているか。	適合	適合
		3	学納金は妥当なものとなっているか。	適合	適合
<p>【学校関係者評価】</p> <p>入学者受け入れ方針(アドミッションポリシー)に遵守し、入学者募集を行った。入学定員を満たす応募者数の確保ができた。入学試験の可否については、入試選考会議に諮り適正に審議した。</p> <p>学納金については問題ないと評価された。</p>					
8	財務	1	中長期的に財務基盤は安定しているか。	適合	適合

		2	財務について会計監査が適正に行われているか。	適合	適合
		3	財務情報公開の体制があるか。	適合	適合
<p>【学校関係者評価】 会計監査が行われ、財務情報も的確に公開した。</p>					
9	法令等の遵守	1	個人情報保護のための体制が整備されているか。	適合	適合
		2	自己評価の実施とそれを基にした改善に努めているか。	適合	適合
		3	自己評価結果を公開しているか。	適合	適合
<p>【学校関係者評価】 個人情報の保護に適用される法令を遵守し、個人情報の持ち出しや外部への送信等による漏洩がないか、学内で厳禁に注意して対応を行った。 自己評価結果の公開は、昨年と同様にホームページ上に公開した。</p>					
10	社会貢献	1	学校が有する教育資源を活用した社会貢献を行っているか。	適合	適合
		2	学生のボランティア活動等を奨励・支援しているか。	適合	適合
<p>【学校関係者評価】 学校が有する教育資源を活用した社会貢献の取り組み事例として、中学生・高校生を対象に進路支援を行った。具体的には中学生には学校見学会を、高校生には学校見学会及び「医療・福祉の仕事フェア」を実施した。これを通して、医療系専門学校の特徴を知る機会を提供していると評価された。 ボランティア活動は依頼主からの要請内容を教員が学生へ伝達し、募集内容をアナウンスして積極的に学生が取り組めるように奨励した。学生は学業と重複しない日程を選考し、参加できる活動については自発的に参加した。 以上の報告から、学校の取り組み、社会貢献は適合していると評価された。</p>					